



6/12(日) 第57回334複合地区年次大会

静岡県 コンベンションアーツセンター「グランシップ」にて開催されました。



今回の複合地区年次大会は、クラブ員同士の親睦はもとより、他クラブとの交流も同時に行いたいということで、額田ライオンズクラブの皆様とバス1台に乗り合って参加しました。そのバスの中では、やはりライオンズクラブの話や仕事の話などで大いに盛り上がり、静岡県までの移動時間があっという間に感じられました。



この日のバスの中で、額田ライオンズクラブ L.近藤に東日本大震災直後の4月初旬から50日もの間 震災ボランティアとして現地で活動された体験談を聞かせていただきました。その活動の中で、想像を絶する光景を見て色々な事を考え、様々な体験をされたそうですが、ライオンズクラブの名前が全国的に認知されている事を痛感したそうです。様々な方法で復興にかかわっていく事が出来ると思いますが、「とにかく機会があれば是非、現地に行ってください」と話されました。貴重な体験談、ありがとうございました。

6/29(水) 現・次 合同編集委員長会議

岡崎ニューグランドホテルにて開催されました。



12・合同会報編集委員長を務められたL.太田雅夫。技術的レベルにかなり差がある各クラブ担当者を上手くまとめていただきました。おかげで編集委員としては、辛く大変ではあったが楽しかったと思える一年間でした。今後も各方面でご活躍されることと思います、よろしくお願いいたします。



強力なリーダーシップで4R・12ゾーンチェアパーソンを一年間務めて頂いたL.伊奈麻古登。挨拶の中で、ライオンズクラブの活動を楽しく発展させる為には、自クラブだけでなく、他クラブとのコミュニケーションを図りながら議論を進め、お互いに刺激を受けたり協力しあったりして、クラブ内を活性化をさせて下さい、と話されました。

「葵」が縁で広がる輪 2010年度

2010年8月 岡崎市立葵中学校と清掃奉仕活動



8月の照り付ける日差しの下、葵中学校生徒615名と共に校内及び周辺地域の清掃奉仕活動を行いました。今回の奉仕活動で、普段何気なく接している通学路など身近な周辺地域にも関心が持てるようになってくれたと思います。

2010年9月 全国友好葵ライオンズクラブ第42回京都大会



我が岡崎葵ライオンズクラブは、クラブ名に「葵」と付く全国の14クラブと「全国友好葵ライオンズクラブ」を組織しています。毎年、各クラブが持ち回りでホストを務め、全国友好葵大会を開催しています。本年度は、伝統と豪華さで定評のある「京都大会」。その京都大会の合同アクティビティで、「葵プロジェクト」に参加することになりました。「葵プロジェクト」とは、京都 上賀茂神社の境内にある「葵の森」の再生の為に、フタバアオイという植物を株分けしてもらい里親として育て、育った一部を「葵の森」へ返すというプロジェクトです。



左の写真がフタバアオイで、ウマノスズクサ科の多年草で、身近な照葉樹の林の中で育ち、二月下旬ごろから新芽が出始め、やがて二枚が対になったハート形の葉が姿を現します。春の盛りには、二葉の分かれ目に淡紅紫色で釣鐘状の花をつけます。秋には葉が枯れますが冬から春にかけてはたっぷり太陽を当てる必要があり、葉のある初夏から秋にかけては日陰にしておく必要があります。

2011年5月 葵中学校がフタバアオイの里親に



「葵」が縁でフタバアオイの里親制度に葵中学校が参加していただける事になりました。育てていただいたフタバアオイは、京都の上賀茂神社境内の「葵の森」再生と同時に、京都三大祭りの一つ「葵祭」にも使用されます。「葵祭」の起源は、今から千四百年ほど前の古墳時代後期にさかのぼるそうです。



葵中学校の生徒さんには、里親になって頂く事で、環境問題やあらゆる生命の大切さを考えるキッカケになると同時に、古くから大切に守られてきた伝統や文化にも関心を持ってくれることを願ってます。